

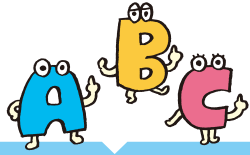


おおたの教育

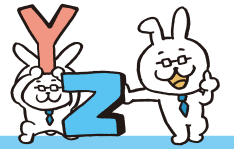
今号の主な内容

- 1面 おおたの国際教育を推進しています
- 2面 教育長所信表明、家庭教育コラム
- 3面 「おおた地球さんご賞」作文・エッセイコンクール開催、夏の体験学習会のお知らせ
- 4面 「地球にやさしいまちづくり」ポスターコンクールの開催

発行/大田区教育委員会 〒144-8623 東京都大田区蒲田5丁目37番1号ニッセイアロマスクエア5階 TEL 5744-1111(代表) HP <https://www.city.ota.tokyo.jp/kyouiku>



おおたの国際教育を推進しています



大田区では、異文化や異なる文化を持つ人たちを受容し、積極的にコミュニケーションを取りながら共生することができる態度・能力を育成する教育活動を行っています。今号では主な取組みを紹介します。

大森東小学校 OGC



OGCとは、おおた国際教育推進校である大森東小学校で研究を進めている、「おおたグローバルコミュニケーション」を略したものです。

OGCは、子どもたちが英語力を向上させるとともに、広い視野をもち、異なる文化をもつ人たちと積極的にコミュニケーションをとりながら共に生きていくことができるグローバル人材の育成を目的としています。

現在、大森東小学校ではOGCティーチャーというOGCのための教師と外国語教育指導員による英語の授業を行っています。

今後、新たに2つの教室をリニューアルし、コミュニケーションルームと海外体験ルームを設置予定です。コミュニケーションルームは、英語の授業を受けるための専用教室で、英語の本などもそろえます。海外体験ルームでは、教室の壁面にプロジェクションマッピングを用いて海外のあらゆる場面を映し出し、実際に海外にいるような没入感の中で、英語によるコミュニケーションを学ぶことができる教室です。今後はこの2つの教室を活用し、国際教育の研究を推進します。



コミュニケーションルームの様子 (教室内、英語本の配架)



海外との交流等

昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、海外との対面交流が難しい中でも、海外の方との交流を通して豊かな国際感覚を育む機会を設けるため、各中学校において英語を用いたプレゼンテーション動画を作成し、アメリカ合衆国のセーラム市やドイツ連邦共和国のブレーメン市と交流を行いました。各校において1人1台のタブレット端末を活用し、英語を用いて工夫した動画を作成することができました。

今年度は11月に中学校生徒海外派遣を行います。



ドイツブレーメン市ヴェーザースタジアム見学

アメリカセーラム市七破風の屋敷見学

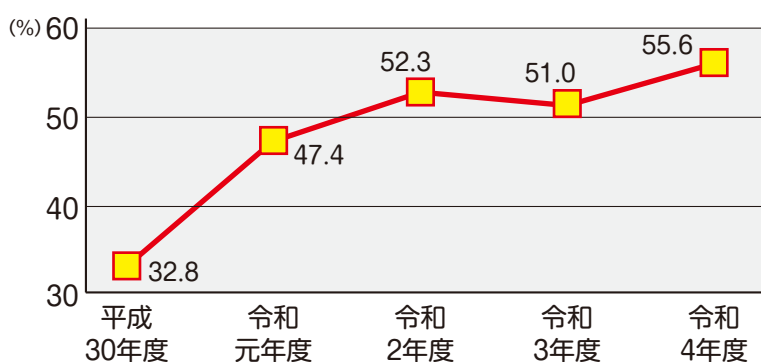
令和元年度の中学校生徒海外派遣の様子

英検の取得率について

令和元年度から、区立中学校第3学年全生徒を対象に公費負担による実用英語技能検定を実施しています。

おおた教育ビジョンに基づく成果指標として、実用英語技能検定3級以上の取得率を令和5年度に60.0%にすることを目指しています。

英語検定3級以上を取得している生徒の割合(中学校第3学年)



英検アプリ (English 4 skills)

生徒の英語学習の意欲向上を図るため、英語学習アプリ「English4skills」を活用しています。本アプリは、「話す」「書く」「聞く」「読む」の英語4技能の学習と英語の検定試験対策ができ、中学校生徒がタブレット端末で使っている「まなびポケット」に搭載されています。



そのため、学校の授業だけでなく、家庭学習でも活用することができます。AIによる学習機能により、生徒一人一人のペースや理解度に合わせて、進めることができます。

今後も英語力向上に向けた取組を進めるとともに、英検アプリ(English4skills)の活用により生徒の英語学習の意欲向上を図り、令和5年度での目標値である60.0%の達成に取り組んでまいります。

区議会第1回臨時会

教育長所信表明

令和5年区議会第1回臨時会(5月23日)、小黒教育長が登壇し、所信表明をいたしました。

本日は、「未来を創る力」を育てる教育について、3点紹介させていただきます。

まずご紹介するのは、令和7年度から、小学5、6年生を対象に実施する大田区独自の教科「おおたの未来づくり」です。

「おおたの未来づくり」では、区の誇るものづくりの技術をはじめ、産業や文化など、地域の方々の協力を得ながら、子どもたちがモノや仕組みを創り出す創造力を育みます。

本年度は、小学校16校が研究実践校として取り組んでおり、子どもたちが未来社会に目を向け、自らの発想を生かして学習に取り組む姿が見られます。

例えば、道塚小学校では、ものづくりの製品の特徴や開発の方法を理解し、自ら製品づくりを試みる学習をしています。また、小池小学校では、地元の勝海舟記念館や金属加工の事業所と連携して、勝海舟生誕200年記念のグッズを作成しました。

この他にも、地域に目を向ければ、子どもたちが

目を輝かし、夢中になる教育資源がたくさんあります。地域の方々から、培われた技や製品について学ぶとともに、その生き方に触れ、考えることは、未来社会を創造的に生きていくために非常に貴重な体験です。

次にご紹介するのは、コミュニティースクールを生かした教育です。

コミュニティースクールは、地域と学校が一体となって子どもを育てることをねらいとしています。

昨年度、コミュニティースクールとなった大森第三中学校では、吹奏楽部の活動が盛んで、コンクールで優れた成績を収めていますが、地域行事にも積極的に参加しています。

昨年度末には、コミュニティースクールの取組として、地元の「大田文化の森」で演奏会が開催されましたが、年配の方に配慮したバラエティーに富んだ演奏内容でした。

音楽活動が、学校内だけに留まらず、地域のホールで、地域の音楽活動として演奏され、地域の人々が楽しむこと、また、生徒の音楽活動を地域が支え、音楽が地域の文化となることは、コミュニティースクールのねらいとするものであり、未来を創る教育の一つの姿であると感じました。

最後にご紹介するのは、不登校特例校分教室「みらい学園」での学びです。

子どもたちが不登校になる理由は様々です。個々の子どもの状況に配慮した多様な学びの場が求め

られています。みらい学園では、生徒の個性が生き、社会性を育むことなどを大切に、安心して学習できる環境づくりを進めています。

理科の授業では、5人ほどのグループに先生も入って、和気あいあいと楽しそうに電気の実験をしていました。また、キャリア教育では、地域の方から仕事の話聞いていました。

このように様々な人との出会いの中で、人と関わることに自信をもち、自分の良さを生かしながら未来に向かって、自分なりに歩んでいける教育環境の創出を進めております。

これらの実践で共通していることは、子どもたちが主体的であり、自らの課題として意欲的に取り組んでいることです。

大森第六中学校では、持続可能な社会の担い手の育成を目指し、教育研究に取り組んでいますが、生徒自身の「社会の様々な課題解決に貢献するために学ぶ」という、学びの意義の理解が、主体性の育成につながっていることが伺えます。

「未来は今である」という言葉があります。今、子どもたちが幸せに生活でき、豊かな学びを積み上げることが、未来社会を創り出すことにつながります。

子どもたちが、自分のことを理解し、支えてくれる人の心の温かさを感じながら成長すること。また、子どもたちが学ぶおもしろさ、生きる喜びを感じ、うれしくて、幸せで笑い出すような教育の姿を、今、創り出していくことが、本区の未来を創ることにつながります。

教育委員会は、このような教育の実現を自らの責務と捉え、全力で取り組んでまいります。



議場で発言する小黒教育長

家庭教育 コラム

子育ては温かい表情と共に

学校発達心理研究所
代表・研究統括官
上級スーパーバイザー 発田 憲

日本の法律では、子どもの身体に危害を加える行為や監護を怠る減食・放置などだけでなく、心理的な苦痛を与える言動についても禁止しています。たとえば、子どもを怒鳴りつける(叱責、いやしめ、おとしめ、不安誘発)行為は、言葉による虐待になる場合があります。これらの行為は、子どもの人格を著しく傷つけるだけでなく、脳の発達に深刻な影響を及ぼすこともあります。

行動の心理学では、1つの問題行動をやめさせるために強い罰を与え続けると、その行動がなくなるところか慢性化してしまったり、罰を受ける恐怖から自分を守るために隠れてやったり、違うかたちで不適切な行動が出てくることを指摘しています。つまり、子どもを怒鳴れば一時的に問題行動がおさまるように見えても、真の改善には結びつかないことを意味しているのです。また、認知の心理学では、怒鳴られることは、叩かれるのと同じだけのダメージを受けることを指摘しています。それは、叩かれると心身に傷が残る、怒鳴られると脳に傷が残るのです。

それなのに、大人はなぜ子どもを怒鳴るのでしょうか。その1つの要因を学習の心理学から考えてみましょう。幼少のころ、親や先生から激しく叱責されることが多かったひとが大人になったとき、「あのような苦痛を同じよう

にわが子に経験させることは避けたい。だから自分はそんな大人にならないようにしよう…」ところが、わき上がる怒りの矛先がわが子に向いてしまう。ひとは「思い」よりも「学習」したことを優先してしまうことがあるのです。(怒鳴られることで行動したり、修正したりすることを学習してしまったのです。)

なお、言われた通りにしない、言われたことが出来ない。このようなわが子に対して怒鳴ってしまったら、「厳しくしないから子どもがしっかりしない!」と、古い観念にこだわり、強く叱責してしまったり、「完璧さ」や「厳格さ」を過剰に求めることによって引き起こされる行為も心理的な虐待につながることがあります。場合によっては、子どもへの怒りのはずが、思い通りにならない自分への怒りになっていることもあるようです。

子どものためだと言いながら、激しく叱責する大人の姿は、親を愛してやまない小さな瞳にどのように見えているのでしょうか。わき上がる怒りのサインを感じたときは、鏡や窓に映る自己を見つめ、子どもと適切にかかわっているか、よく考えてみてほしいのです。

実は、怒鳴りつけなくても、大人の思いは伝わる人が多いのです。「わが子の心に映る自分は、温かい表情に満ちているか…」自分自身に問いかける機会があってもよいかもしれません。



【保護者の皆さんへ 家庭教育学習会の動画を配信中!】

「小学校低学年の子どもと向き合うために ～日頃のわが子とのコミュニケーションをふりかえろう～」

令和5年3月、小学校低学年の子どもを保護者を対象にした家庭教育学習会を実施しました。講師をしていただいた発田憲さんの講義の一部を、ダイジェスト版でお届けします。ぜひご覧ください!



家庭教育コラムのバックナンバーや家庭教育学習会の情報は、大田区ホームページからご覧いただけます。

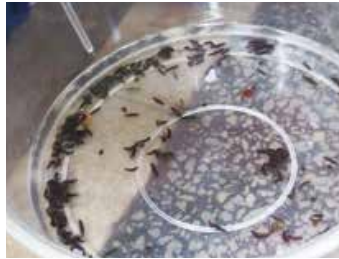


「おおた 地球さんご賞」作文・エッセイコンクールの開催

【多摩川：うのき水辺の楽校の活動】 【大森海苔のふるさと館による竹ひびたて】



【大森第六中学校へイケボタルの放流】



「おおた 地球さんご賞」は、「地球環境や地域の環境について考え、次の世代の行動につなげるプロジェクト」として、小中学生から作文やエッセイを募集します。

「地球さんご(3×5)賞」とは、3は人間が持つ能力(見る・考える・行動する)、5は地球が直面する環境問題(地球温暖化・海洋汚染・水質汚染・大気汚染・森林破壊)をイメージしたもので、さんご賞は5つの問題に3つの能力で立ち向かうことを意味しています。

大田区在住の直木賞作家 安部龍太郎氏が提唱するコンクールです。

■ 応募作品

自らが学校や地域で取り組んだ自然環境を守る経験や「おおたの未来づくり科」など、学校で学んだことをもとに、地球環境や身近な環境に関係することを、自らの言葉で文章としていただいたものとします。テーマなど自由です。皆さんの自由な表現を期待します。

■ 応募資格

区内在住または在学の小・中学生など

■ 応募規定(詳細は右記二次元コードでご確認ください)

・原稿用紙で1200字以内 未発表・自筆原稿とします。

・締め切り 9月13日(水) 必着

■ 提出先

教育委員会事務局教育総務課教育地域力推進担当宛て

■ 主催・共催

一般社団法人水のもり文化プロジェクト・大田区教育委員会



問合先 教育総務課教育地域力推進担当 TEL: 5744-1447 FAX: 5744-1535

夏の体験学習会のお知らせ

■ 郷土博物館

地域の歴史を学び、昔の技術や暮らしを知ることができる体験学習会を開催します。夏休みに特別な体験をしてみましょう。

No.	開催日時	体験学習会名	内容	対象	定員
①	8月1日(火) 13:00~16:00	大森麦わら張り細工	「大田区にあった伝統工芸」学習 江戸時代から作られてきた「大森麦わら細工」の歴史と、張り細工の技術を学びます。	小学3年生以上	20名
②	8月2日(水) 13:00~16:00	麦わらのホタルカゴづくり	「昔の遊び」学習 「大森麦わら細工」の歴史を学び、麦わらで昔の虫かごを作ります。	小学3年生以上	20名
③	8月16日(水) 10:00~16:00	オリジナル六郷のとんび凧づくり	「大田区にあった伝統工芸」学習 「六郷とんび凧」の歴史を学び、オリジナルのとんび凧を作ります。[六郷とんび凧の会協力]	小学4年生以上	16名
④	8月22日(火) 13:00~16:00	大森麦わら張り細工	「大田区にあった伝統工芸」学習 江戸時代から作られてきた「大森麦わら細工」の歴史と、張り細工の技術を学びます。	小学3年生以上	20名
⑤	8月23日(水) 13:00~16:00	麦わらのガラガラ鳴るおもちゃづくり	「昔の遊び」学習 「大森麦わら細工」の歴史を学び、麦わらで昔の子どものおもちゃを作ります。	小学3年生以上	20名
⑥	8月17日(木) a: 13:30~16:00	勾玉づくり	「大昔の暮らし」学習 「勾玉」の歴史を学び、滑石を加工して自分だけの勾玉を作ります。	小学生以上	各回15名
⑦	8月18日(金) b: 9:30~12:00 c: 13:30~16:00				

【持ち物など】 ①~⑤はハサミ、⑥⑦はタオル・エプロン

【費用】 ①④は410円、③は300円、⑥⑦は350円

【申込先・問合先・会場】

郷土博物館 〒143-0025 大田区南馬込5-11-13 TEL 3777-1070 FAX 3777-1283

【申込方法】

①~⑤は、7月11日(火) 8:30から、いずれも電話で受付(先着順)。

⑥⑦は往復はがき…1つの催事につき1通が有効(応募多数の場合は抽選)。

申込人数は往復はがき1通につき2名まで。往信の文面は右記の図を参照の上、記入してください。申込みの締め切りは、8月1日(火)までの消印有効。記入内容の条件を満たしていない場合は受付の対象外となりますので、ご了承ください。

【交通手段】

・西馬込駅下車、東口より徒歩7分

・大森駅北口改札(山王方面)東急バス4番のりば「荏原町駅入口」行きで「万福寺前」下車徒歩2分



▲ 麦わら細工の作品例



▲ オリジナル六郷のとんび凧の作品例

■ 大森 海苔のふるさと館

海や海苔をテーマとした体験学習会を開催します。同館では海苔づくりなどで使われた道具なども展示しています。

No.	開催日時	体験学習会名	内容	対象	定員
⑧	7月23日(日) 13:30~15:30	タペストリーをつくらう	海の仕事の結び方でタペストリー(壁掛け)を作ります。	小学3年生以上	12名
⑨	7月30日(日) 9:30~12:00	浜辺の生き物探検隊	浜辺の生き物の採集や観察を通して、海の生き物に親しみます。	小学3年生以上	10名
⑩	8月6日(日) 13:00~16:00	自由研究で海苔を調べよう	解説や作業体験を通して、大森の海苔養殖の歴史とかつての海苔の作業について学びます。	小学3年生以上	10名
⑪	8月8日(火) 13:00~15:30	自然素材でフォトフレームづくり	海苔糞の作り方で自然素材のヨシを編み、貝などで飾り付けしたフォトフレームを作ります。	小学3年生以上	12名
⑫	8月11日(金・祝) 13:00~15:30	海のくつつく生き物を観察しよう	フジツボやエビ、貝など付着して生きる習性の小さな海の生き物を観察します。	小学3年生以上	12名
⑬	8月14日(月) 9:30~12:00	浜辺の生き物探検隊	浜辺の生き物の採集や観察を通して、海の生き物に親しみます。	小学3年生以上	10名
⑭	8月23日(水) a: 9:30~11:00 b: 13:30~15:00	貝から工作	紙箱に貝殻を貼り付けて、貝の水族館を作ります。	小学生以下 幼児は保護者同伴	各回15名
⑮	8月24日(木) c: 9:30~11:00 d: 13:30~15:00				

【持ち物など】

⑧⑪はハサミ、⑨⑬は帽子・タオル・飲み物・濡れてもいい服・靴(踵が固定できるもの)・着替え・筆記用具、⑩は筆記用具・ノート、⑫は筆記用具、⑭⑮はハサミ・空の紙箱

【費用】 ⑨⑬は100円

【申込先・問合先・会場】

大森 海苔のふるさと館 〒143-0005 大田区平和の森公園2-2
TEL 5471-0333 FAX 5471-0347
(「大森ふるさとの浜辺公園」と「平和の森公園」の間)

【申込方法】

⑧~⑬は、7月9日(日) 9:00から、いずれも電話で受付(先着順)

⑭⑮は、往復はがき…1つの催事につき1通が有効(応募多数の場合は抽選)。

申込人数は往復はがき1通につき1家族まで。往信の文面は下記の図を参照の上、記入してください。申込みの締め切りは、8月1日(火)までの消印有効。記入内容の条件を満たしていない場合は受付の対象外となりますので、ご了承ください。

【交通手段】

・平和島駅から徒歩15分

・大森駅から平和島循環バスで約20分、「平和島五丁目」下車徒歩3分



▲ 浜辺の生き物探検隊

▶ 往復はがきの書き方

■ 往信用 (表)		(裏)		■ 返信用 (表)		(裏)	
郵便番号	住所	施設名	催事名 宛て	郵便番号	申込者の郵便番号、住所	氏名	※何も書かないでください。

■ 全催事マスクの着用を推奨しています。体験等が含まれるので、動きやすい服装と靴でお越しください。昼食は各自でご用意ください。

■ 催事当日に発熱や咳などがあり、体調がすぐれない場合は参加をご遠慮ください。その場合は必ず申込先へキャンセルのご連絡をお願いします。

■ 催事によっては中止・延期となる場合があります。その場合は決定次第、各申込先からお客様へ連絡します。

「地球にやさしいまちづくり」ポスターコンクールの開催

環境問題に対する理解と関心を深めてもらうことを目的に、区内の小中学生からポスターを募集します。
 楽しい夏休みを過ごす中で、「環境」を色々な視点で考え、ポスターに表現してみませんか。
 ※ポスター作成にあたっては、次の記事の「環境学習コンテンツの紹介」をご活用ください。

■作品テーマ

- ①ごみ減量・リサイクル ②地球温暖化防止・省エネルギー
- ③食品ロス削減 ④まちの美化 ⑤緑・自然・いきもの

■応募資格

区内在住または在学の小・中学生

■応募規定

作品は画用紙四つ切サイズとし、使用する画材は自由です。作品の裏面中央に学校名・学年・氏名・ふりがなを明記してください。
 ●応募は一人1作品です。●未発表のオリジナル作品に限ります。●特定の商品名、キャラクター等をイメージさせるもの、
 企業名が入った作品は応募できません。●作品テーマに見合った「標語」を入れてください。

■応募方法

- <区立小・中学校に通学している方> 学校を通じてご提出ください。詳細は各学校へお問い合わせください。
- <その他の学校に通学している方> 9月1日(金)～9月8日(金)の期間に受付します。詳細は下記問合せ先までご連絡ください。



今、地球で起こっていること知ってる? ～環境学習コンテンツの紹介～

区ホームページでは、環境学習に役立つコンテンツを公開しています。自宅から環境問題について考えてみませんか。夏休みの宿題や自由研究などに、ぜひご活用ください。7月29日(土)、オンラインで夏休み子ども環境教室～プラスチック・紫外線講座～を行います。

《アクセス方法》

① 区ホームページ



② インターネット検索



大田区 環境学習

③ 二次元コード



申込・問合せ先

環境計画課 計画推進・温暖化対策担当
 〒144-8621 大田区蒲田5-13-14 区役所本庁舎8階
 TEL: 5744-1362 FAX: 5744-1532



＜動画コンテンツ紹介(一例)＞



YouTube「大田区公式チャンネル」で動画公開中

令和5年度子供の読書活動優秀実践図書館 文部科学大臣表彰 大田区立図書館



大田区立図書館が、学校図書館支援事業、各館における年代別サービスなどの着実な取組を評価され、令和5年度「子供の読書活動優秀実践図書館文部科学大臣表彰」を受賞しました。

同表彰は、子供の読書活動について特色ある優れた実践を行っている図書館を表彰するもので、今年度は全国で46館、東京都では3館が表彰されました。

大田区立図書館は、今後も子どもの読書活動推進に取り組んでまいります。

教育委員会定例会の主な議題

- 令和5年第3回定例会(3月27日(月)開催)
 - ・令和5年度大田区立学校の研究校等について
 - ・大田区教育委員会が管理する個人情報の保護に関する規則を廃止する規則
 - ・大田区教育委員会事務局事案決定手続規程の一部を改正する訓令 他8件
- 令和5年第4回定例会(4月27日(木)開催)
 - ・令和6年度使用小学校教科用図書採択に係る委員会の設置について
 - ・大田区立学校安全衛生委員会設置規程の一部を改正する訓令
- 令和5年第5回定例会(5月29日(月)開催)

教育委員会定例会の開催予定日

- 日程 ①7月21日(金) ②8月8日(火) ③9月25日(月)
- 時間 午後2時から(①②の受付時間は、午後1時から午後1時40分までとなります。)
- 場所 ①・②蒲田5-37-3 大田区民ホール・アプリコ 展示室
③蒲田5-37-1 ニッセイアロマスクエア5階 教育委員会室

※予定が変更になる場合があります。
 傍聴を希望される方は、あらかじめ下記問合せ先へご確認ください。
 ※保育が必要な方は開催日3週間前までに、手話通訳・要約筆記が必要な方は開催日1週間前までに、その他特別な配慮が必要な方は事前にご連絡ください。